

合併浄化槽の普及促進

党和歌山 関係団体と政策懇談会
県 本 部



生活排水処理の現状について説明を聞く熊野氏
(右から3人目)ら

公明党和歌山県本部(多田純一代表＝県議)はこのほど、和歌山市内で和歌山県浄化そう協会(木谷恭三会長)と政策懇談会を開き、生活排水を処理する浄化槽の整備に関して要望を受けた。これには党浄化槽整備推進議員懇話会に所属する熊野正士参院議員(同県本部顧問)も出席した。

懇談会では、東京福祉大学の喜多村悦史副学長、全国浄化槽団体連合会の佐々木裕信専務理事が生活排水

処理の現状などを報告。木谷会長は、トイレの排水しか処理できない「単独処理浄化槽」から、台所や風呂などの雑排水も処理できる「合併処理浄化槽」への転換促進に向け、浄化槽法改正や助成制度の創設、拡大などを求めた。

これに対して熊野氏は「今後もしっかり推進する」と回答。多田県代表は「現場を声をもとに、県内の各自治体で政策を進める」と述べた。